

意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第5回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年7月11日（火曜日） 15:00～17:00 オンライン開催
出席者	有識者：岡田 知弘氏（京都橘大学 経済学部教授、京都大学名誉教授） 区側：区政経営改革担当課長（森）、企画課企画調整担当係長（伏田）、企画課職員（窪田）
配布資料	資料1 「第4回有識者意見聴取の記録」 資料2 意見の反映状況 資料3 検証のまとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行いながら、有識者から意見を聴取した。</p> <p>1 第4回意見聴取の振り返りについて</p> <p>(1) 資料1 「第4回有識者意見聴取の記録」の確認。</p> <p>(2) 資料2 意見の反映状況について 意見を反映し作成した資料3も交えながら反映状況の確認とそれに伴う意見を聴取。</p> <p>2 主な意見</p> <p>[資料3-1について]</p> <ul style="list-style-type: none">・8ページの「今後グラフ挿入予定」となっている部分について、区の予算に占める指定管理料の割合が増加傾向なのであれば、例えば、その上限について検討する必要があるかどうかなど、サービス面だけでなく、予算面での検証も検討してみたいかがか。・利用者数の推移について<ul style="list-style-type: none">▶ 利用者数の増減は指定管理者制度導入効果に必ずしも結びつかないかもしれないが、利用者数を載せ、施設の利用状況を示すことは意味があると考える。▶ 保育園（46ページ）は他の施設と違って定員が決まっているため、利用者数の推移を示す際も、その旨を記載する必要がある。例えば、グラフに定員ラインを引いてはどうかか。▶ 図書館（33ページ）は、本の貸出数のデータもとっているということなので、利用者数の推移と併せて本の貸出数も掲載し、顕著な傾向があれば文章で説明してはどうかか。▶ 現状では、1つ1つの施設ごとの棒グラフとなっているが、折れ線グラフ等にして、施設種別ごとにまとめて示すことも検討してはどうかか。・各章の冒頭にある総括部分は、囲みにするなど、分かりやすくなるよう工夫してはどうか。また、文章の構成上、「総括」が冒頭にあることには違和感がある。「概要」とするなど名称変更を検討してみたいかがか。・グラフや数値データの表と、記述回答をまとめた箇所のいずれも、「図表番号」を付番しているが、記述回答をまとめた箱は、通常「図表」とは呼ばない。「図表〇—〇」ではなく、「記述回答〇—〇」などとして、グラフ等とは区別してはどうかか。・コスト比較（72ページ）は、制度導入から20年近く経っている施設もあるため、経済情勢が導入当初とは異なっていることも含め、誤解を与えないような記載を検討してほしい。 <p>[資料3-4について]</p> <ul style="list-style-type: none">・区民調査では施設を利用している人・利用していない人の両方が存在しており、そのうち「施設を利用している人」と「利用者調査回答者」を比較している現在の方法で良いと考えるが、違う調査を比較していることが分かるように図などにより可視化すると良い。

- ・「聴くオフ・ミーティング」で出た意見は、区民や施設利用者からの意見でもあるので、区民調査等の結果と合わせ、本報告書に記載しても良いかもしれない。

[資料3-5について]

- ・第6章は、これまでの章の課題に対しての結論にあたるので、本検証を基にした今後の指定管理者制度の方向性を記載することで良いと考える。

意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第5回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年7月4日（火曜日） 15：00～17：00 オンライン開催
出席者	有識者：林 正義氏（東京大学 大学院経済学研究科 経済学部教授） 区側：区政経営改革担当課長（森）、企画課企画調整担当係長（伏田）、企画課職員（窪田）
配布資料	資料1 「第4回有識者意見聴取の記録」 資料2 意見の反映状況 資料3 検証のまとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行いながら、有識者から意見を聴取した。</p> <p>1 第4回意見聴取の振り返りについて</p> <p>(1) 資料1 「第4回有識者意見聴取の記録」の確認。</p> <p>(2) 資料2 意見の反映状況について 意見を反映し作成した資料3も交えながら反映状況の確認とそれに伴う意見を聴取。</p> <p>2 主な意見</p> <p>[資料3-1について]</p> <ul style="list-style-type: none">・第1章冒頭に検証を行った経緯を「はじめに」として入れると良い。 <p>[資料3-2について]</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者数の推移の傾向が見えない場合でも、利用者数を載せることは意味があるとする。・利用者数の推移のグラフについて、100人単位でまとめているが、規模的に1,000人単位でまとめても傾向は把握できる。1,000人単位でまとめれば、縦軸に「単位（千人）」等と示すことで、グラフ上に表示される数字の桁数も減らすことができるので、全体としても見やすくなる。・保育園（46ページ）は定員が決まっているため利用者数に大きな増減がないこと、建物建替えによる定員数の変化などある場合はその理由も記載すべきである。・施設毎に利用者数・コスト面・満足度を並べて載せることやそれぞれを1つに併せた表にすることも検討してみたい。・図書館（33ページ）の利用者について、本を借りないが来館する人もいるので、利用者数と本の貸出数の両方を載せてはどうか。また永福図書館は令和3年度から複合施設になったことを記載すべきである。・指定管理者制度導入前後の経費比較（72ページ）には、「消費者物価指数」や「区民経済計算」を用いて、インフレ調整を行うとより精緻な数値が見せられるが、計算結果を記載せずとも、導入前後で経済情勢に差があることを踏まえると数値以上の効果があることを記載するだけでも良い。・74ページの経費比較表について、経費が下がったことを「効果があった」と表現するのであれば、財政効果推計額の欄の数値は正数（プラス）となるように計算すべきである。・区民調査と利用者調査ともに回答者は比較的利用率の高い人であると考えられるので、本調査結果はそうした回答者の意見が大きく現れている可能性がある旨を記載すべきである。・グラフ化しても傾向が分からないものは無理に傾向までを示す必要はない。

- ・他の章での情報も併せて論じることができることもあるので、第4章では必要な情報のみ記載して、残りは資料編に記載することも検討してみたいかがか。

[資料3-5について]

- ・文中の「聴くオフ・ミーティング」は、固有名詞であることが明確に分かるよう、「」を付けた上で、注釈も付けるべきである。
- ・第6章で、これまでの章の総論のほか、本検証を基にした今後の指定管理者制度の方向性について記載するのであれば、「本報告のまとめと今後の展望」としてはいかがか。